

地域に根ざした 環境市民活動を支援

セブン-イレブン記念財団は、地域の環境市民団体が新しい社会の担い手として活躍できるよう、市民が主体的に行っている地域の環境活動をさまざまな角度から支援しています。

環境市民活動助成

お客様が募金を通して地域の環境活動を支援する、市民参加型の社会貢献活動です。

環境市民活動支援事業の大きな柱は、公募制の「環境市民活動助成」です。日本全国のセブン-イレブン店頭募金箱にお客様から寄せられた募金を、地域の環境市民団体に助成金という形でお届けし、地域の環境活動を直接支援しています。

「環境市民活動助成」は、2001年に日本国内の団体および活動を助成対象として開始しました。助成先を全国から公募し、助成先団体選定の透明性と公正性を高めるために、それぞれの活動分野を審査する専門審査会と、その結果をもって広い視点から審査を行う最終審査会の2度の審査会を設け、厳正な審査を経て助成先団体を決定しています。

助成先には、安心して活動できるように年度初めに助成金をお振り込みし、活動終了後に活動報告書と会計報告書を提出いただいています。



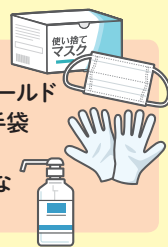
2021年度 環境市民活動助成パンフレット

助成の種類 (2020年度)	助成の趣旨と特徴
設立25周年記念2019年度限定山の森・海の森づくり助成(2年目)	「CO ₂ 削減」と「豊かな自然環境の再生」を推進する活動に、直接必要な経費を原則5年間継続して支援します。
活動助成	環境市民活動に必要な経費を1年間支援します。
NPO自立強化助成	助成期間内に事務所費・人件費などの財政基盤を強化するため、安定的に活動を継続することができる自主事業の構築・確立を目指す環境NPOを原則3年間継続して支援します。
緑化植花助成	緑と花咲く街並みをつくる活動を1年間支援します。
清掃助成	ごみのない環境をつくる活動を1年間支援します。

新型コロナウイルス感染症への対応

2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、今後の活動を安全に実施するため、活動に伴う備品・消耗品の振替購入を認め、今年度交付している助成金より3万円(税込)を上限として、以下の備品・消耗品に変更することを可能としました。

- ① 使い捨てマスク
- ② 使い捨てフェイスシールド
- ③ 使い捨てビニール手袋
- ④ 消毒液
- ⑤ 非接触で測定可能な体温計





NPO基盤強化支援

地域の環境市民団体のネットワーク活動を支援しています。



北海道エリアの情報交流会

全国各地でたくさんのボランティア団体や個人が環境保護・保全活動をしています。そうした小さな活動を個々の活動にとどめず、ネットワークの中で「人・もの・資金・情報・ノウハウ・

マネジメント・専門性」を相互に交流させれば、それぞれの活動基盤を強化することができます。

セブン-イレブン記念財団は、北海道、東海、近畿で地域のネットワーク活動をしている組織の事務局運営を設立準備から継続して支援しています。また、助成金セミナーや情報交流会を支援しています。



助成金セミナーオンライン開催



環境NPOリーダー支援



活動現場を視察

2002年から環境NPOで活動するリーダーの個人支援として、公募制の「環境NPOリーダー海外研修」を実施しています。この研修制度は、海外の環境NPOで学んだ組織運営や活動技術、情報や経験、ノウハウを、帰国後に日本各地の活動現場で活

環境市民活動を実践するリーダーを支援しています。

かすことを目的としています。研修生は書類審査・面接審査を経て決定しています。

また、研修生の有志が結成した一般社団法人日本環境NPOネットワークの運営を支援すると共に、同NPOと「日本環境NPOネットワーク会議」を毎年共催し、情報の交換や共有を図り、環境NPOリーダー間のネットワークを広げています。

※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。



地域の環境美化活動支援

「スカウトの日」の活動を支援

次の世代を担う子どもたちが、さまざまな体験を通して環境問題に気付き自らが考えて行動できるよう、環境意識を育てる青少年の環境教育活動を支援しています。

(公財)ボーイスカウト日本連盟が毎年9月の敬老の日(第三月曜日)に実施している全国で一斉に行われる社会貢献活動「スカウトの日」を1994年より継続して全面的に支援しています。



「スカウトの日」の活動

「スカウトの日」の累計結果 (1994年～2020年)

参加団数	32,013回
参加人数	1,318,104名
回収した空き缶	7,439,924本
回収したペットボトル	638,201本



札幌大通公園花壇

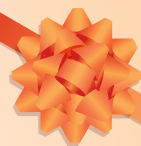
花壇の出展

多くの市民が憩う北海道の「札幌大通公園花壇」

1997年度(平成9年度)より大通4丁目東側に「セブン-イレブン記念財団花壇」を出展し、公園を訪れる人々の目を楽しませています。

花壇は、5月に春の花、6月から7月に夏の花、8月に夏の花の半分を入れ替え、9月から10月に秋冬の花、というように年4回花を植え替えています。

当財団からの助成金で活動し、 その活動が評価された団体をご紹介します！



静岡・海辺づくりの会

団体の都道府県市区町村：静岡県静岡市駿河区

助成申請した活動内容：緑化植化助成

受賞内容：第16回花壇コンクールで最優秀賞受賞



静岡市花と緑のまちづくり協議会が年1回開催する花壇コンクールに応募したところ、幸運にも最優秀賞をいただくことができました。

毎週金曜日の午前中に二十数名が集まり、せっせと世話をします。夏には当番を決めて

毎日水やりを欠かさず行い、春と秋には大々的な植え替え作業を続けた会員の努力の賜物です。自慢の花壇を是非ご覧ください。



ハボタンの植え付け作業



完成した花壇全景

豊富どんぐりの森

団体の都道府県市区町村：千葉県船橋市咲が丘

助成申請した活動内容：活動助成

受賞内容：2020年度船橋市市政功労賞受賞

豊富どんぐりの森は、船橋市から「2020年度市政功労賞」を受賞しました。受賞の理由は「環境の保全に貢献」です。森は、船橋市北部の豊富町と鈴見町にまたがる地に位置し、2001年9月に開設、以来20年、明るい風通しの良い森作りを目指しています。

活動内容は、

①里山保全：夏は下草刈り、苗木の移植。秋から冬にかけて老木の伐倒を実施しています。

②森の開放：夏休みの一日に小学生以下の子どもを招待し、昆虫採集や広場での丸太渡り等で森の体験学習を行っています。



表彰状

③「環境フェア」への出展：船橋市で行われている環境フェアに毎年出展し、木こり体験を通じて市民へ環境問題を訴えています。

④出前体験教室：市の温泉施設とタイアップし、入場者に丸太切りや竹細工作りの体験を楽しんで貰っています。セブン-イレブン記念財団からは、2017年、19年、20年と助成していただきました。それまで借り物や中古品中心だった備品が徐々に整備され、里山保全活動に拍車がかかっています。これからも受賞を励みとして、更にSDGsに向けた活動を続けたいと思っています。



活動中の写真



集合写真